

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 歴史総合 近代から現代へ 山川出版社 ）

教科 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】 歴史は単なる事実が偶発的に積み上げられてきたものではないことを認識し、正しい事実を知り、事実の因果関係・相関関係が歴史を作ってきたことを認識できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 教養人として知っているべき世界および日本の成り立ちと現状を概観し、これからの日本の取るべき道を主体的に考えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 偏見や思い込みなしに事実を認識し、これまでの世界が形成されてきた過程を踏まえながら、自分たちの将来、自分たちの社会を形成していくうえで判断材料にすることを目指していけるようにする。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
用語を単に丸暗記するのではなく、ある事実が生じるに至った原因を知ったり、またその事実が新たに何を生じさせたのかを知ったりすることを心掛け、ある事実が歴史の形成においてどのような役割を果たしてきたかを理解できるようにする、	歴史の流れを理解したうえで、ある事実が歴史の上で果たした役割を考え、何がよかったから歴史が好転し、何が間違っていたから歴史が悲惨なものになったのかを考え、教訓的に今後の社会の形成に寄与できる思考ができるようにする。	様々な文化の発生について学び、異文化に対する偏見や思い込みを排除して冷静に起きている事実の判断ができるようにする。自分たちが社会の一員として歴史を作っていくのだという自覚をもって責任ある判断ができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部 近代化と私たち 【知識・技能】 ・古代からの各地の文化・文明の成り立ちを大まかに理解したうえで、近代以降ヨーロッパ文化や制度が世界各地に拡大していった過程を知る。 【思考・判断・表現】 ・近代社会の成立と成熟の過程で世界規模で価値観が共有されていったが、このことに関しては西洋文化の優越性が過剰な意識とともに広がっていったことなどの問題点を含むものであることにも注目して日本とアジア諸国との関係を客観的に考えさせたい。	・近代社会の成立は産業の発展や科学の進歩をもたらして人々の幸福に結びついたことも事実であるが、非ヨーロッパ世界では、日本も含め、長い歴史を持つ伝統文化の破壊にもつながったことを意識させたい。 ・列強による植民地拡大の背景には何があつたのかを考えさせ、ヨーロッパの制度や文化の鋼材についても考察できるようにしたい。 ・世界の一体化にともなう世界システムの形成について考え、現代社会の構造についても考えさせたい。	【知識・技能】 ・教科書や資料集の表やグラフの読み取りを通じて、世界の一体化、近代化の過程をデータを通じて客観的に理解できる能力を身に付け、思い込みや偏見に基づく判断をしない態度を身に着けた。 【思考・判断・表現】 ・簡単な論述を通じて、知りえた知識をもとに歴史の動きを理解、説明することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの作成により自分の観察・判断によって歴史の因果関係などを説明することができるか。	○	○	○	6
第2部 国際社会の変化や大衆化と私たち 【知識・技能】 ・第一次世界大戦により制限戦争から総力戦へと戦争の質が変化し、戦争はより悲惨なものになったことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・戦争の反省を人類はどう生かそうとしたのか、またそれはどのような結果をもたらしたのかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第一次世界大戦後の世界情勢の変化をみて、世界におけるヨーロッパ世界の役割の変化や、価値観の変化について考える。	・戦争の性格の変化が人々の暮らしに与えた変化、とくに女性の地位向上や社会政策に与えた変化を理解させる。 ・国際連盟の成立の意義とその限界について理解させる。 ・軍縮や国際平和への努力が世界恐慌による各国のエゴイズムで再び戦争に至る過程を理解させる。しかし、平和への努力がはじまったことに対する意義が大きいことも理解させる。	【知識・技能】 ・教科書や資料集の表やグラフの読み取りを通じて、世界の一体化、近代化の過程をデータを通じて客観的に理解できる能力を身に着け、思い込みや偏見に基づく判断をしない態度を身に着けた。 【思考・判断・表現】 ・簡単な論述を通じて、知りえた知識をもとに歴史の動きを理解、説明することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの作成により自分の観察・判断によって歴史の因果関係などを説明することができるか。	○	○	○	8
1学期期末考査		考査・ワークシート	○	○		1

2 学 期	<p>第2部 国際社会の変化や大衆化と私たち…続き</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の勃発と経過について理解させる。 ・戦後世界の形成と国際連盟の成立について理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の反省を人類はどう生かそうとしたのか、またそれはどのような結果をもたらしたのかを考える。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟の失敗をどう生かそうとして国際連合が作られたのかを考え、平和への努力について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の勃発をなぜ防ぐことができなかったのかを考えさせる。 ・平和を維持するための組織である国際連合の意義とその限界についてこう考察させる。 ・冷戦に至る国際情勢の変化と、これに伴う日本の国際的立場の変化に関して考察させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集の表やグラフの読み取りを通じて、世界の一体化、近代化の過程をデータを通じて客観的に理解できる能力を身に付け、思い込みや偏見に基づく判断をしない態度を身に付けたい。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な論述を通じて、知りえた知識をもとに歴史の動きを理解、説明することができるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの作成により自分の観察・判断によって歴史の因果関係などを説明することができるか。 	○	○	○	8
	<p>第2編 国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習する態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源の有限性に気づき、新たなエネルギー資源の開発について考えさせる。 ・石油以外のエネルギー資源の存在に着目させる。 ・自然から得られるエネルギーにはどのようなものがあるか考えさせる。 ・地球規模での気温上昇が1970年代以降顕著であることに気づかせる。 ・地球温暖化に対する国際的な取組みに着目させる。 ・様々な種類の地球環境問題が世界各地で起こっていることに気づかせる。 ・球的課題の解決には、国際的な取組みが不可欠であることに気づかせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習する態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。 	○	○	○	9
	学年末考査		考査・ワークシート	○	○		1